

デジタル時代の人材政策に関する検討会
第5回試験ワーキンググループ

試験問題の教材活用の検討について

令和5年2月28日

事務局

試験問題の教材活用についてこれまでのWGでいただいた主なご意見

過去問題の活用・転用に関するご意見

- **FE試験やIP試験の問題**は、個別の分野や問題を切り出すような形で教育機関等においてこれまでも活用されてきた。これらの問題の**マイクロコンテンツ化**できる可能性はある。
- 作問の立場から見て、民間の教材には解説が間違っているものも見受けられる。
- 午後の事例問題は、試験委員が苦勞しながら、現在企業で用いられている技術などを問題に取り入れており、貴重な**現場の事例として活用できる可能性がある**。
- 試験問題の活用について、企業内の環境やリレーション等を前提とするケース問題は、そのままでは教育現場では使えない可能性があり、**カスタマイズが必要**。また、既存の問題をカスタマイズするよりは、一から問題を作成した方が早い場合もある。
→ 過去問題をそのまま活用する場合は、試験実施時の正答率等のデータを活用することが可能。（IPA）

教材の在り方に関するご意見

- **事例の解答・解説ではなく、試験の実施側としてはこのような見方をしてほしいということを示すような教材**があるとよい。
- 午後問題のケース教材化は、面白い。ただし内容は、午後問題の解説ではなく、**試験シラバスやデジタルスキル標準について、実社会でどのように技術が使われているのか、という観点から、具体的に説明するもの**がよい。
- **試験シラバスやデジタルスキル標準をベースに、このあたりを勉強してほしいということを示すことも必要ではないか**。
- 午後問題のケース教材化には非常に意義があるが、解法テクニックを教えるのではなく、**今後求められるデジタル人材とはどのような人材なのかが伝わるような内容**とすることが重要。

試験問題の教材活用イメージ

新規作成
度合い

